

会 務 月 報

第 502 号

発行 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

■令和6年12月通常理事会 議事概要

1. 日 時 令和6年12月4日（水） 14:00～16:13

2. 場 所 日事連会議室

3. 理事会構成者総数、定足数及び出席者数

理事会構成者総数35名、定足数18名、出席者数33名

4. 出席者及び欠席者の氏名

出席者

会 長 上野浩也

副 会 長 村田良太、白井 勇、相原清安、樋上雅博、内野輝明、西 洋一

専務理事 居谷献弥

常任理事 山口 聡、安藤春久、大村 修、鉄川裕崇、仲摩和雄

理 事 安藤正道、伊藤公績、金丸智昭、河野正博、川本 茂、佐藤啓智、柴田淳一郎、杉藤 崇、
清吾幸子、高橋清秋、瀧本裕之、千鳥義典、豊田隆雄、林田康孝、東山 圭、平山正義、
本澤 崇、本間裕之、村社俊弘、山室昌敬

監 事 初鹿和久、阪口龍平

事 務 局 脇山、前田、野出、三浦、千浜、伊東、吉田

欠席者

石井繁紀常任理事、井桁正昭理事

5. 議長の選任

上野浩也会長が議長に選任された。

6. 議事録署名人の確認

定款第45条第2項の規定により、議事録署名人は以下の者であることが確認された。

上野浩也会長、初鹿和久監事、阪口龍平監事

7. 協議事項

(1) 常任理事会専決事項の承認の件

①令和6年度日事連建築賞の受賞者決定の件

事務局より、資料1によって日事連建築賞選考委員会での選考経過及び受賞者の説明がなされた。

②令和6・7年度専門委員会等委員の件

事務局より、資料2によって令和6・7年度専門委員会等委員について説明がなされた。

③専務理事の非常勤化及び参与職の新設等の件

事務局より、資料3によって次の趣旨の説明がなされた。

居谷専務理事が辞任の意向を示されたため、次の専務理事候補者として脇山芳和氏を参与（職員）として10月7日に採用し、居谷専務理事を10月16日から12月13日まで非常勤とすることとした。

④臨時総会及び臨時理事会の開催等の件

事務局より、資料4によって次の趣旨の説明がなされた。

専務理事交代のため、まず総会で専務理事候補者を理事に選任し、その後に理事会で専務理事を互選しなければならない。12月13日の全国会長会議の際に、臨時総会及び臨時理事会を開催し、新専務理事を選任することとした。

⑤令和6年度全国会長会議等の議事及びスケジュール等の決定の件

事務局より資料5によって、12月13日に岐阜市で開催する全国会長会議等の行事、スケジュール及び議事内容等について説明がなされた。

以上の常任理事会で決定した五つの事項について議長より諮ったところ、異議なく、これを承認した。

（2）令和6年度上半期事業報告及び決算報告の承認の件

居谷専務理事及び各常置委員会委員長より、資料6－1によって令和6年度上半期事業報告について、会議、事業概要、総務・財務、教育・情報、業務・技術、広報・渉外、指導運営、能登半島地震への対応、建築士事務所全国大会、法制度対応、青年部会、住宅金融支援機構適合証明業務及び会員動静等に関するそれぞれの内容の説明がなされた。

なお、この報告は一般社団・財団法人法第91条第2項、定款第26条第8項に規定する理事の職務の執行状況報告を兼ねるものである旨、会議冒頭に事務局より説明がなされた。

続いて、居谷専務理事より、資料6－2によって一般会計及び適合証明業務登録機関特別会計の令和6年度上半期決算報告について説明し、阪口監事より監査報告がなされた。

議長より、上半期事業報告及び決算報告について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

（3）令和6年度収支予算の変更の承認の件

居谷専務理事及び事務局より、資料7によって次の趣旨の説明がなされた。

日建学院の環境・ストック活用推進事業のうち、調査、普及・広報に関する事業の委託が決定したため、団体補助金収入の増額及びそれに伴う関係支出科目の変更を行いたい。

また、居谷専務理事が役員を退任することとなった。退職功労金等にかかわる予算は備忘科目1万円しか計上されていないため、増額する必要がある。

さらに、確定した適合証明業務登録機関特別会計の前期繰越収支差額の変更もあわせて行いたい。

議長より、令和6年度収支予算の変更について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

（4）令和7年度単位会組織強化支援事業の承認の件

白井副会長より、資料8によって次の趣旨の説明がなされた。

令和7年度も例年どおり単位会を支援するが、審査に際しては、過去に採択された事業が繰り返し申請された場合は採択を優先しない。採択された場合でも2回目75%、3回目以降50%等、支援金額の割合を調整する。令和7年度は5年に渡り実施する最終年度であるため、年度内に完結するよう配慮の上申請してほしい。

議長より、令和7年度単位会組織強化支援事業について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

（5）令和7年度日事連建築賞の募集の承認の件

鉄川広報・渉外委員長より、資料9によって次の趣旨の説明がなされた。

令和7年度の募集要項については、例年の必須変更項目の他、審査基準「その他、地域や時代の要請に応える新たな視点等について配慮されていること。」の追加及び2次審査への応募可能数（会員数が500事務所以内の単位会においては、第1次審査の応募作品数が10点以上の部門について当該部門に1点加えることができる）を変更し、選考委員1名を交代して募集をかけたい。

議長より、令和7年度日事連建築賞の募集について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

(6) 新潟大会運営特別委員会の設置の承認の件

事務局より、資料10によって次の趣旨の説明がなされた。

第47回建築士事務所全国大会（新潟大会）の企画・立案・運営等の検討のため、白井副会長を委員長に、総勢6名で構成する特別委員会を設置したい。

議長より、新潟大会運営特別委員会の設置について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

(7) 令和8年度第48回建築士事務所全国大会（京都大会）の開催日程等の承認の件

事務局より、資料11によって次の趣旨の説明がなされた。

近畿ブロック協議会より、京都大会の大会式典及びパーティを令和8年10月2日に開催したいとの通知があった。大会式典会場はロームシアター京都、パーティ会場はウェスティン都ホテル京都である。

議長より、京都大会の開催日及び会場について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

(8) 令和7年度建築士事務所賠償責任保険の制度改定の承認の件

白井副会長より、資料12によって次の趣旨の説明がなされた。

令和7年度より、建築士事務所賠償責任保険の制度改定を実施したい。改定項目は、基本補償プランの免責金額タイプ、法令基準未達補償特約・構造基準未達補償特約（補償範囲、支払限度額及び最低保険料）、建物調査業務補償特約及び非会員契約展開プランの見直し並びに制度運営費である。

7. 報告事項

(1) 事務所登録手数料等の見直し状況について

上野事務所登録電子化対応WG主査より、資料13によって国土交通省から都道府県宛てに発出された技術的助言及び単位会から都道府県に対する改定要望と手数料改定の検討状況等について説明がなされた。

(2) 国際的で魅力ある次世代の建築職能人材の育成に向けた提言（案）について

居谷専務理事より、資料14によって、この提言は全国建築系大学教育連絡協議会で作成しつつある段階で、日本建築学会から五会会長会議に提案されたものであるとの説明がなされた。

(3) 当面の主な会議予定

事務局より資料15によって、令和7年7月迄の主な会議予定の報告がなされた。

(4) 会員・構成員異動報告

事務局より資料16によって、令和6年7月から10月の単位会別構成員数及び賠償責任保険加入者数等の報告がなされた。

8. その他

本澤理事より、今後のマロニエBIMコンペの開催について12月13日の全国会長会議で発言させてほしいとの要請がなされ、協議の結果、了承した。

<配付資料>

資料1：令和6年度日事連建築賞の受賞者決定について

- 資料2：令和6・7年度委員会委員等について
- 資料3：専務理事の非常勤化及び参与職の新設等について
- 資料4：臨時総会及び臨時理事会の開催等について
- 資料5：全国会長会議等のスケジュール及び議事等について
- 資料6－1：令和6年度上半期事業報告書
- 資料6－2：令和6年度上半期決算報告書
- 資料7：令和6年度収支予算の変更について
- 資料8：令和7年度単位会組織強化支援実施要領（案）
- 資料9：令和7年度日事連建築賞について
- 資料10：新潟大会運営特別委員会の設置について（案）
- 資料11：令和8年度第48回建築士事務所全国大会の開催日等について
- 資料12：日事連・建築士事務所賠償責任保険2025年度「制度改定」のご案内
- 資料13：建築士事務所登録手数料について（技術的助言）他
- 資料14：国際的で魅力ある次世代の建築職能人材の育成に向けた提言（案）
- 資料15：当面の主な会議予定
- 資料16：会員・構成員異動報告等

■第142回建築士事務所協会全国会長会議 議事概要

1. 日 時 令和6年12月13日（金）13：00～14：07

2. 場 所 ホテルグランヴェール岐山 3階「鳳凰」

3. 会議の構成者数及び出席者数

構成者数 単位会会長47名

出席者数 47名（内、書面表決提出 宮崎会・村社俊弘）

4. 出席者氏名

(1) 正会員・指定代表者の氏名

北海道会	川幡宏一、青森会	山口 聡、岩手会	佐々木章、宮城会	高橋清秋
秋田会	村田良太、山形会	原 行雄、福島会	安藤正道、茨城会	河野正博
栃木会	山崎良知、群馬会	石井繁紀、埼玉会	佐藤啓智、千葉会	井桁正昭
東京会	千鳥義典、神奈川会	平山正義、新潟会	本間裕之、長野会	伊藤公績
山梨会	初鹿和久、富山会	稲葉伸一、石川会	小林正澄、福井会	木下賀之
岐阜会	荒井誠二、静岡会	金丸智昭、愛知会	安藤春久、三重会	相原清安
滋賀会	大村 修、京都会	上野浩也、大阪会	樋上雅博、兵庫会	原田敏文
奈良会	阪口龍平、和歌山会	城本章広、鳥取会	井手添誠、島根会	坂本拓三
岡山会	山田 暁、広島会	豊田隆雄、山口会	小倉 凡、徳島会	内野輝明
香川会	鉄川裕崇、愛媛会	鳥谷陽一郎、高知会	田中健一、福岡会	西 洋一
佐賀会	内田 要、長崎会	木場耕志、熊本会	田中之博、大分会	仲摩和雄
宮崎会	村社俊弘、鹿児島会	八反田淳一、沖縄会	池間 守	

(2) 役員

副会長 白井 勇

専務理事 居谷献弥

理事 杉藤 崇、清吾幸子、瀧本裕之、林田康孝、東山 圭、本澤 崇

5. 挨拶

上野浩也会長より、以下の趣旨の挨拶があった。

- ・建築士事務所登録手数料の見直しに向け、建築設計議員連盟所属の先生方及び国土交通省の協力や単位会の努力により要望がようやく実現しつつあり、少しは単位会の財政基盤の安定に繋がるかと思う。
- ・青年部等で活動している人材が日事連や単位会の活動に積極的に取り組む機会が増えることに期待している。
- ・業法の確立と当然入会つまり強制入会の実現が60年間できなかった。難題であるが前進できる時機は必ずあると思われる。皆様のお知恵を拝借し取り組んでいきたい。

6. 議長・副議長の選任

司会者より、議長及び副議長の選任について諮ったところ、議長に村田良太秋田会会長が、副議長に相原清安三重会会長が選任された。

7. 議事録署名人の選任

議長より、議事録署名人の選任について諮ったところ、議長に一任され、村田良太議長、樋上雅博大阪会会長及び上野浩也京都会会長を選任した。

8. 報告事項等

(1) 令和6年度上半期事業報告及び決算報告について

居谷専務理事及び各常置委員会委員長より、資料1-1によって、令和6年度上半期事業報告について概要説明がなされた。続いて、居谷専務理事より、資料1-2によって、一般会計及び適合証明業務登録機関特別会計の令和6年度上半期決算報告について概要説明がなされた。

(2) 令和7年度単位会組織強化支援事業について

石井繁紀総務・財務委員長より、資料2によって令和7年度単位会組織強化支援事業の実施要領（案）について概要説明がなされた。

基本的に令和7年度は6年度を踏襲した内容で実施することとしているが、7年度は5年に渡り実施する最終年度である。旅費交通費については、事業総額に対して過大と判断された場合は20万円程度を目途に調整することの他、事業総額の1/3以内と付け加えた。

(3) 今後のマロニエBIMコンペの開催について

本澤崇BIMと情報環境WG主査より、資料3によって、今後のマロニエBIMコンペの開催について概要説明がなされた。

当初は栃木会が主体として実施していたが、令和3年に日事連が主催（単位会が主管またはサポート）、国土交通省の補助事業として実施し、翌年以降は国土交通大臣賞を設定している。

現在、本WGにおいて今後のコンペ開催にあたっての協議を行っているが、社会人のエントリーが少なく、単位会からも会員等への周知に協力いただきたい。

9. 協議事項

(1) 第73回臨時総会議題について

①理事の補欠選任について

居谷専務理事より、議案書に基づき、第1号議案に該当する理事の補欠選任の件について説明がなされた。

<配付資料>

資料１－１、資料１－２：令和６年度上半期事業報告及び決算報告について

資料２：令和７年度単位会組織強化支援事業について

資料３：今後のマロニエＢＩＭコンペの開催について

第７３回定時総会議案書

■第７３回臨時総会 議事概要

１．日時 令和６年１２月１３日（金）１４：３０～１４：４２

２．場所 ホテルグランヴェール岐山 ３階「鳳凰」

３．総会構成者総数、定足数及び出席者数

総会構成者総数 ４７人

定足数 ２４人

出席者数 ４７人（うち、書面表決書提出１単位会）

○書面表決した者の氏名

宮崎会 村社俊弘

４．出席者の氏名

（１）正会員・指定代表者の氏名

北海道会	川幡宏一、青森会	山口 聡、岩手会	佐々木章、宮城会	高橋清秋
秋田会	村田良太、山形会	原 行雄、福島会	安藤正道、茨城会	河野正博
栃木会	山崎良知、群馬会	石井繁紀、埼玉会	佐藤啓智、千葉会	井桁正昭
東京会	千鳥義典、神奈川会	平山正義、新潟会	本間裕之、長野会	伊藤公績
山梨会	初鹿和久、富山会	稲葉伸一、石川会	小林正澄、福井会	木下賀之
岐阜会	荒井誠二、静岡会	金丸智昭、愛知会	安藤春久、三重会	相原清安
滋賀会	大村 修、京都府会	上野浩也、大阪会	樋上雅博、兵庫会	原田敏文
奈良会	阪口龍平、和歌山会	城本章広、鳥取会	井手添誠、島根会	坂本拓三
岡山会	山田 暁、広島会	豊田隆雄、山口会	小倉 凡、徳島会	内野輝明
香川会	鉄川裕崇、愛媛会	鳥谷陽一郎、高知会	田中健一、福岡会	西洋一
佐賀会	内田 要、長崎会	木場耕志、熊本会	田中之博、大分会	仲摩和雄
宮崎会	村社俊弘、鹿児島会	八反田淳一、沖縄会	池間 守	

（２）役員

副会長 白井 勇

専務理事 居谷献弥

理事 杉藤 崇、清吾幸子、瀧本裕之、林田康孝、東山 圭、本澤 崇

５．司会 事務局長 前田

６．会議の成立

司会者より、正会員４７単位会全員（書面表決書提出者を含む）が出席し、定款第１９条の定足数を満たしており、会議が成立している旨報告がなされた。

７．議長及び副議長の選出

司会者より、議長及び副議長の選出について諮ったところ、拍手多数により次の者が選出された。

議 長 樋上雅博大阪会会長

副議長 内野輝明徳島会会長

8. 議事録署名人の選任

議長より、議事録署名人の選任について諮ったところ、拍手多数により、議長・樋上雅博、上野浩也京都会会長及び西洋一福岡会会長が選任された。

9. 議 事

(1) 第1号議案 理事の補欠選任の件

居谷献弥専務理事より、議案書1ページの補欠の理事の選任の件について説明及び提案がなされ、議長より、理事の補欠選任案について採決したところ、異議なく、脇山芳和を理事として選任した。
議長は、以上をもって本日の議事が終了した旨を述べた。

■令和6年12月臨時理事会 議事概要

1. 日 時 令和6年12月13日（金）14:47～14:52

2. 場 所 ホテルグランヴェール岐山 3階「鳳凰」

3. 理事会構成者総数、定足数及び出席者数

理事会構成者総数35名、定足数18名、出席者数31名

4. 出席者及び欠席者の氏名

出席者

会 長 上野浩也

副 会 長 村田良太、白井 勇、相原清安、樋上雅博、内野輝明、西 洋一

常任理事 山口 聡、石井繁紀、安藤春久、大村 修、鉄川裕崇、仲摩和雄

理 事 安藤正道、井桁正昭、伊藤公績、金丸智昭、河野正博、佐藤啓智、杉藤 崇、
清吾幸子、高橋清秋、瀧本裕之、千鳥義典、豊田隆雄、林田康孝、東山 圭、
平山正義、本澤 崇、本間裕之、脇山芳和

監 事 阪口龍平

事 務 局 前田、野出、三浦

欠席者

理 事 川元 茂、柴田淳一郎、村社俊弘、山室昌敬

監 事 初鹿和久

5. 議長の選任

上野浩也会長が議長に選任された。

6. 議事録署名人の確認

定款第45条第2項の規定により、議事録署名人は以下の者であることが確認された。

上野浩也会長、阪口龍平監事

7. 議 事

(1) 専務理事の互選について

議長より、居谷氏の辞任により空席となった専務理事の互選について意見を求めたところ、白井勇副会長より脇山芳和理事が適任である旨提案があった。議長より同提案について諮ったところ、一同これを承認した。

専務理事 脇山芳和

■主な行事予定

令和7年

- 1月21日 適合証明・既存住宅状況調査専門委員会
- 22日 法制度対応特別委員会
会員サービス検討WG
- 27日 教育・情報委員会
- 28日 福井大会運営特別委員会
- 30日 業務・技術委員会
- 2月 3日 広報・渉外委員会
- 5日 会誌編集専門委員会
指導運営委員会
- 12日 新潟大会運営特別委員会
業務報酬及び官庁発注検討WG
- 14日 省エネ・再エネ検討WG

令和6年12月末 会員・構成員異動報告等

1. 期 間 令和6年12月1日～12月31日
 2. 会 員 在 籍 正会員 47団体 構成員 14,188事務所
 賛助会員 11社

単位会	構成員		建築士事務所登録		賠償責任保険		
	増 減	在籍数(A)	登録数(B)	加入率(A/B)	増 減	加入数(C)	加入率(C/A)
北海道	△ 9	924	4,008	23.1%		276	29.9%
青 森		161	872	18.5%		46	28.6%
岩 手		273	885	30.8%	+ 1	83	30.4%
宮 城	+ 1	320	1,737	18.4%		91	28.4%
秋 田		135	926	14.6%		46	34.1%
山 形		214	1,041	20.6%		61	28.5%
福 島		231	1,383	16.7%		71	30.7%
茨 城		421	1,758	23.9%	+ 2	149	35.4%
栃 木		164	1,253	13.1%	+ 1	77	47.0%
群 馬		187	1,514	12.4%		90	48.1%
埼 玉		430	4,265	10.1%		135	31.4%
千 葉	△ 2	331	3,161	10.5%		113	34.1%
東 京	+ 1	1,639	14,009	11.7%	+ 2	651	39.7%
神奈川	+ 1	741	5,652	13.1%	+ 3	249	33.6%
新 潟	△ 1	295	2,109	14.0%	△ 1	128	43.4%
長 野	△ 1	375	1,952	19.2%	+ 1	104	27.7%
山 梨		104	752	13.8%		13	12.5%
富 山		292	1,092	26.7%		63	21.6%
石 川		330	1,219	27.1%		70	21.2%
福 井		193	894	21.6%		55	28.5%
岐 阜		108	1,471	7.3%		34	31.5%
静 岡	+ 1	370	2,870	12.9%		126	34.1%
愛 知	+ 1	499	4,779	10.4%		147	29.5%
三 重		181	1,117	16.2%		61	33.7%
滋 賀		181	1,033	17.5%		42	23.2%
京 都	+ 1	356	2,117	16.8%		106	29.8%
大 阪		794	6,086	13.0%		251	31.6%
兵 庫	△ 2	354	3,300	10.7%		100	28.2%
奈 良		104	906	11.5%		26	25.0%
和歌山		105	705	14.9%		25	23.8%
鳥 取	+ 1	118	440	26.8%		53	44.9%
島 根	△ 1	115	598	19.2%		53	46.1%
岡 山	△ 5	367	1,372	26.7%		70	19.1%
広 島		339	2,148	15.8%		150	44.2%
山 口		111	956	11.6%		39	35.1%
徳 島		105	761	13.8%		20	19.0%
香 川		88	1,000	8.8%		20	22.7%
愛 媛	△ 2	197	1,128	17.5%	+ 1	59	29.9%
高 知		136	616	22.1%		37	27.2%
福 岡		468	3,434	13.6%		183	39.1%
佐 賀		175	532	32.9%		43	24.6%
長 崎		226	753	30.0%		43	19.0%
熊 本		223	1,335	16.7%		95	42.6%
大 分		152	767	19.8%		47	30.9%
宮 崎		108	979	11.0%		47	43.5%
鹿児島		264	1,058	25.0%	+ 1	83	31.4%
沖 縄	+ 1	184	1,267	14.5%	+ 1	72	39.1%
計	△ 15	14,188	94,010	15.1%	+ 12	4,603	32.4%

※建築士事務所登録数(B)は令和6年4月1日時点の数字である。